

APEXセミナー(東京)テーマ一覧

| 回 | 日程 | 題目 | 講師(敬称略) |
|----------|------------|----------------------------------|-----------------------------|
| 1 | 1987.4.12 | インドネシア、小さな民の村落産業 | 水野広祐 (アジア経済研究所) |
| 2 | 1987.4.25 | 曼陀羅模様の世界～アジア学のすすめ | 鶴見良行 (評論家) |
| 3 | 1987.5.17 | 東南アジアのセルフ・ヘルプ・ハウジング | 布野修司 (東洋大学助教授) |
| 4 | 1987.6.26 | 日本近代技術の形成と第三世界 | 中岡哲郎 (大阪市立大学教授) |
| 5 | 1987.7.25 | 都市の出稼ぎ労働者の暮らし～インドネシアを例として | 福家洋介 (愛知学泉大学講師) |
| 6 | 1987.11.27 | フィリピン社会と政治不安 | 福島光丘 (アジア経済研究所) |
| 7 | 1987.12.12 | 漂流民の海 | 門田修 (写真家) |
| 8 | 1988.1.23 | チャチャイさんから見た日本 | チャチャイ・ラチャスワン (タイ留学生) |
| 9 | 1988.2.27 | インドネシアにおける大衆小説の世界 | 押川典昭 (翻訳家・東京外国語大学講師) |
| 10 | 1988.3.20 | 教室にアジアの風を吹き込もう | 大津和子 (高校教員) |
| 11 | 1988.4.30 | YABAKAのスウォンド、フェリさんを囲んで | スウォンド、フェリ (YABAKA) |
| 12 | 1988.5.21 | 人間らしい住居作り～スラムでのたたかい | ホルフェ・アンソレーナ (イエズス会) |
| 13 | 1988.6.20 | タイの農村開発・最近の動き～スリン県タサワン村の事例 | 野崎明 (東北学院大学教授) |
| フィールドワーク | 1988.7.9 | フィールド・ワーク“風の学校”へ行こう | 中田正一 (風の学校) |
| 14 | 1988.7.25 | タイの工業化と急展開する日タイ投資関係について | 末廣明 (大阪市立大学教授) |
| フィールドワーク | 1988.10.1 | フィールド・ワーク タイ料理を食べながらタイ文化を語る | 戸田杏子 (タイ料理研究家) |
| 15 | 1988.11.19 | アジアの人々は日本をどのように見、また感じているか | スリチャイ・ワンガエーオ (チュラロンコン大学準教授) |
| 16 | 1988.12.10 | アジアからの出稼ぎ労働者問題 | 内海愛子 (恵泉女学園大学教授) |
| 17 | 1989.1.28 | 日本のNGOの現状とアジアのNGOとのかかわりについて | 伊藤道雄 (NGO活動推進センター) |
| 18 | 1989.3.6 | 私の事業と歩いてみたインドネシア | 鹿島博文 (山陽ポリ総業社長) |
| 19 | 1989.4.15 | インドネシアの小さな産業の育成 | 水野広祐 (アジア経済研究所) |
| 20 | 1989.5.27 | わやん(影絵芝居)の基本と人生観 | 松本亮 (日本ワヤン協会) |
| 21 | 1989.6.12 | 東部ジャワの農村開発について | ファリッド・アアーマッド (ヤヤサン・エクソ会員) |
| 22 | 1989.7.22 | 天安門事件以後～中国はどこへ行くのか | 矢吹晋 (横浜国立大学教授) |
| 23 | 1989.10.21 | ジャワ農村事情 | 加納啓良 (東京大学助教授) |
| 24 | 1989.11.18 | 最近のラオス事情 | 野口賢一 (ラオスの子供達に絵本を送る会) |
| 25 | 1989.12.16 | アラフラ海渡航記 | 藤林泰 (楸メコン) |
| 26 | 1990.1.20 | 日本国際ボランティアセンター(JVC)の10年～JVCの試行錯誤 | 岩崎駿介 (JVC代表・筑波大学助教授) |
| 27 | 1990.2.17 | シャブラニール(=市民による海外協力の会)はなぜ続いているか | 福沢郁文 (シャブラニール代表) |
| 28 | 1990.3.24 | 文化を中心とした海外活動 | 吉川健治 (曹洞宗ボランティア会(SVA)) |
| 29 | 1990.4.22 | 「なまこ」の眼から見た世界 | 鶴見良行 (龍谷大学教授) |
| フィールドワーク | 1990.5.20 | フィールド・ワーク ご夫妻の生き方に触れる・田植えをする | 土屋芳久・佳代 (山武をアジアに開く会) |
| 30 | 1990.6.16 | ODAの虚像と実像 | 鷺見一夫 (横浜国立大学教授) |
| 31 | 1990.9.8 | 第三世界のマングローブ林破壊～ミャンマーを例として | 向後元彦 (東京農業大学客員研究員) |
| 32 | 1990.10.20 | 見てきたインドネシア | 千葉理恵、伊藤修一 (研修生) |
| 33 | 1990.11.24 | 炭の効用と第三世界 | 岸本定吉 (炭焼きの会代表理事) |
| 34 | 1990.12.15 | サヘルを緑に | 杉野二郎 (サヘルの会) |
| 35 | 1991.1.26 | 第三世界と適性技術としての風車 | 牛山泉 (足利工業大学教授) |
| 36 | 1991.2.23 | 東南アジアのスラムとウサギ小屋 | 布野修司 (東洋大学助教授) |
| 37 | 1991.3.16 | アジアの女性とともに生きる | 広木道子 (アジア女子労働者センター) |
| 38 | 1991.4.20 | アジアの女性労働者から見た日本 | 福島瑞穂 (弁護士) |
| フィールドワーク | 1991.5.18 | フィールド・ワーク 森清さんとともに旋盤工場を見学する | 森清 (羽生田鉄工技術顧問) |
| 39 | 1991.6.29 | ジャワ農村の儀礼と慣行に見る生活倫理 | 関本照夫 (東京大学東洋文化研究所助教授) |
| 40 | 1991.7.27 | 日本企業とアジアの女性たち | 遠野はるひ (東京都外人労働者相談員) |
| 41 | 1991.10.26 | YABAKAの人々との一ヶ月間 | 竹内歩、松岡武 (研修生) |
| 42 | 1991.11.16 | エスニシティー・民族・ナショナリズム | 山崎カヲル (東京経済大学教授) |
| 43 | 1991.12.14 | 政変に揺れ動くビルマ | 根本敬 (東京外国語大学助手) |
| 44 | 1992.1.25 | ソ連解体、その原因と今後の展望 | 塩川善信 (東京大学農学部助手) |
| 45 | 1992.2.22 | 日本文化の根底にあるもの～「百姓」と農民 | 網野喜彦 (神奈川大学短期大学部教授) |
| 46 | 1992.3.28 | 進むアジアの工業化と日本の立場 | 森清 (評論家、羽生田鉄工技術顧問) |
| 47 | 1992.4.25 | アジアの歩き方～アジアにおける国境・サバを事例として | 鶴見良行 (龍谷大学教授) |
| 48 | 1992.6.6 | 熱帯林の回復と土壌の改良 | 蟻木翠 (東京農業大学教授) |
| 49 | 1992.7.11 | ブラジル地球サミット～NGOの新たな展開 | 古沢広祐 (目白学園女子短大教授) |
| 50 | 1992.10.24 | インドネシア・スマラン市で暮らした一ヶ月 | 山口香、遠藤敦子 (研修生) |
| 51 | 1992.11.21 | ピースポートするで! | 辻本清美 (ピースポート主催者) |
| 52 | 1992.12.18 | カンボジア問題を考える～自衛隊ではなくNGOを | 岩崎駿介 (JVC代表) |
| 53 | 1993.1.23 | ピープルズプラン21世紀～タイ会談が目指したもの | 井上礼子 (PARC運営委員長) |
| 54 | 1993.2.20 | 従軍慰安婦問題にみる戦後賠償 | 西野留美子 (フリーライター) |
| 55 | 1993.3.13 | 内発的発展とは何か～その今日的意義 | 鶴見和子 (上智大学名誉教授) |
| 56 | 1993.4.24 | アジアの法秩序とその問題点 | 木村泰樹 (中央学院大学教授) |
| 57 | 1993.5.22 | バリ芸能の人類学～クレオール文化の可能性 | 山下晋司 (東京大学助教授) |
| 58 | 1993.6.12 | インドネシア都市緑化の試み | 富田正信 (東京農業大学講師) |
| 59 | 1993.9.18 | ボランティアの力の危うさ～ボランティア・サポートの必要性 | 金子郁容 (一橋大学教授) |
| 60 | 1993.10.23 | インドネシア・スマラン市で過ごした一ヶ月 | 中村郁子、加藤知夫 (研修生) |
| 61 | 1993.11.18 | 内発的発展論と非営利の経済～社会的ヨーロッパの建設 | 西川潤 (早稲田大学教授) |
| 62 | 1993.12.13 | ODAと草の根の海外協力 | 北沢洋子 (国際問題評論家) |
| 63 | 1994.1.22 | 企業社会とボランティア～複線型人間への転換 | 磯部祐三 (富士ゼロックス) |
| 64 | 1994.2.26 | インドネシアの政治状況～取材を通じて | 浅野健一 (共同通信外信部) |
| 65 | 1994.4.23 | インドネシアの環境衛生とコンポスト化 | 北脇秀敏 (東京大学客員助教授) |
| 66 | 1994.5.14 | バリ芸能の経済学～「楽園」の下部構造 | 山本宏子 (東京国立文化財研究所) |
| 67 | 1994.6.18 | インドネシア文化事情～メディア・イスラム・大衆文化 | 小川忠 (国際交流基金) |
| 68 | 1994.7.30 | 企業の社会貢献・これから | 出口正之 (サントリー文化財団) |
| 69 | 1994.10.22 | 大学生が見てきたインドネシア～APEX研修生報告 | 富永大徳、下坂友香 (研修生) |
| 70 | 1994.11.19 | クボラ～ジャワの大衆演劇 | 風間純子 (上智大学・大東文化大学講師) |
| 71 | 1994.12.3 | インドネシア語とはどんな言語か～比較言語学の視点から | 土田滋 (東京大学教授) |
| 72 | 1995.1.28 | マニラのスラムに住む | 中西徹 (東京大学教授) |
| 73 | 1995.2.4 | 花岡事件と戦後補償～戦後補償問題とその背景 | 内田雅俊 (弁護士) |
| 74 | 1995.3.4 | 田舎町から世界を見ると～若い人たちに元気を出してもらえれば | 土屋芳久 (山武の宇宙農民) |
| 75 | 1995.4.23 | アジアの環境問題と水処理適性技術 | 宇井純 (沖縄大学教授) |
| 76 | 1995.5.9 | 廃プラスチック再生～私の実践 | 鹿島博文 (サンポリ社長) |
| 77 | 1995.6.17 | 震災ボランティアの現実問題 | 末村祐子 (曹洞宗国際ボランティア会) |
| 78 | 1995.7.15 | 劇場発・アジアの中の日本劇団 | 木村快 (現代座代表) |
| 79 | 1995.10.14 | 大学生がみてきたインドネシア | 樹田宗一郎、永山優美 (研修生) |
| 80 | 1995.11.18 | 教えられなかった戦争～フィリピン編 | 高岩仁 (映像文化協会) |
| 81 | 1995.12.16 | 日本占領期のインドネシアと戦後賠償 | 倉沢愛子 (名古屋大学教授) |

APEXセミナー(東京)テーマ一覧

| 回 | 日程 | 題目 | 講師(敬称略) |
|------|------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 82 | 1996.1.20 | 韓国中国最新事情～経済を中心に | 魯洗旭(助手:孟建軍)(東京工業大学研究員) |
| 83 | 1996.2.24 | アジア・太平洋経済協力の進展とASEAN WAY | 高木功(創価大学助教授) |
| 84 | 1996.3.30 | 開発と女性～アジアの女性の現状と北京女性会議から | 伊従直子(アジア女性資料センター) |
| 85 | 1996.4.13 | NPO法どうなるNGO活動 | 松原明(市民活動を支える制度をつくる会) |
| 86 | 1996.5.25 | PP21カトマンドウ会議の報告と今後の民衆運動の目指すところ | 武藤一羊(PP21日本コーディネーター) |
| 87 | 1996.6.15 | インドネシアの音楽文化 | 皆川厚一(亜細亜大学講師) |
| 88 | 1996.7.6 | 22234人・インドネシアの元従軍慰安婦達 | 川田文子(戦後補償実現市民基金) |
| 89 | 1996.10.12 | 大学生の見たインドネシア | 小野瀬貴久、加藤亜矢子(研修生) |
| 90 | 1996.11.16 | 薬害再発防止の提案～エイズ事件・水俣病から日本を考える | 後藤孝典(弁護士) |
| 91 | 1996.12.7 | 食のオルターナティブとフェアトレード | 堀田正彦(オルタナティブジャパン代表) |
| 92 | 1997.1.18 | 食料サミット報告～そして食の地域自立を考える | 古沢広祐(國學院大学教授) |
| 93 | 1997.2.8 | ケジラと生きる | 江上幹幸(青山学院大学講師) |
| 94 | 1997.3.30 | インドネシアにおけるイスラム文化～開発・近代化との関連 | 中村光男(千葉大学教授) |
| 95 | 1997.4.19 | パテックを作ってきた人たち～その労働・経営・市場について | 関本照夫(東京大学東洋文化研究所教授) |
| 96 | 1997.6.21 | ダムはもういらぬ～ODAと国内公共事業 | 鷺見一夫(新潟大学教授) |
| 97 | 1997.7.26 | 外国人も市職員に！～川崎市国籍条項撤廃までの道のり | 皆川敏明、高村賢司(川崎市総務局人事部) |
| 98 | 1997.10.18 | 大学生の見たインドネシア | 榎本よし乃・腰原藍(研修生) |
| 99 | 1997.12.6 | 総選挙後のインドネシア:スハルト後はどうなる | 大形利之(東京農大非常勤講師) |
| 100 | 1998.1.31 | インドネシアのNGOはなぜ活発なのか:NGOをめぐる経済システム | 水野広祐(京都大学助教授) |
| 101 | 1998.3.21 | JVCの18年とインドネシア:NGOの役割 | 熊岡路矢(JVC代表) |
| 102 | 1998.4.25 | 現代バリ社会における「伝統医療」について | 大橋亜由美(京都文教大学助手) |
| 103 | 1998.5.23 | 貧困と公共資源:アマルティア・センをヒントに | 佐藤仁(東京大学大学院国際社会学科) |
| 104 | 1998.6.27 | ベトナムのマンガロープ支援 | 向後元彦(砂漠を緑に) |
| 105 | 1998.7.25 | インドネシア5月政変:軍とゴルカルの動向 | 大形利之(東京農大非常勤講師) |
| 106 | 1998.10.30 | 「経済危機と改革の中のジョグジャ」 | 小野邦彦(早稲田大学大学院) |
| 107 | 1998.12.3 | 「経済危機下のインドネシアから戻って」 | 倉沢愛子(慶応大学経済学部教授) |
| 108 | 1999.3.27 | 「ハビビ政権の内政と対外関係」 | 首藤とも子(駒澤大学法学部教授) |
| 109 | 1999.4.24 | 「APEX1999年春季研修生派遣報告」 | 田島巧也・杉田布美子・成田由香子(1999年春の研修生) |
| 110 | 1999.5.22 | 「ジョグジャで日本語を教える」 | 荒川宣子(日本語教師) |
| 111 | 1999.6.26 | 「融けあうパテックと友裡」 | 荒井里美(染色家) |
| 112 | 1999.7.24 | 「インドネシア総選挙と今後の政局」 | 深尾康夫(亜細亜大学講師) |
| 113 | 1999.11.11 | 「変動のインドネシア-大統領選のゆくえ-」 | 倉沢愛子(慶応大学経済学部教授) |
| 114 | 1999.12.18 | 「公私融合」の仕事術 | 森清(山野美容芸術短期大学) |
| 115 | 2000.1.29 | 「脱原発エネルギー社会の構想」 | 藤田祐幸(慶応義塾大助教授) |
| 116 | 2000.2.19 | 「中国の環境危機を考える」 | 李志東(長岡科学大学助教授) |
| 117 | 2000.4.8 | 「インドネシアの環境問題」 | 作本直行(アジア経済研究所主任研究員) |
| 連続講座 | 2000.5.28 | 「アジアの環境問題の現在」 | 石弘之(東京大学教授) |
| 連続講座 | 2000.6.10 | 「水循環型社会の構築」 | 森田豊治(荏原総合研究所社長) |
| 連続講座 | 2000.6.17 | 「環境技術の移転と創造」 | 植田和弘(京都大学) |
| 連続講座 | 2000.6.24 | 「21世紀の科学技術を考える」 | 中岡哲郎(大阪経済大教授) |
| 連続講座 | 2000.6.3 | 「再生可能型エネルギー社会の構築」 | 牛山泉(足利工業大) |
| 118 | 2000.9.30 | 「アジアをめぐる古着とゴミ」 | 富家洋介(大東文化大助教授) |
| 119 | 2000.10.26 | 「国際協力のための水処理技術入門」 | 福田文治(セキスイエンバイロメント技術顧問) |
| 120 | 2000.12.16 | 「いま、インドネシアは」 | 村井吉敬(上智大学外国語学部教授) |
| 121 | 2001.1.25 | 「地球を救うエネルギー・メニュー」 | 西尾漢(原子力資料情報室共同代表) |
| 122 | 2001.2.17 | 「中国における環境技術移転の実践」 | 定方正毅(東京大学工学部教授) |
| 123 | 2001.3.15 | 「インドネシア、開発とNGO」 | アントン・シヤルウォ(DEAN DESA財団ディレクター) |
| 124 | 2001.4.15 | 「インドネシアで若者が感じたもの」 | 小川貴子・小島千穂・田中亜紀(2001年春の研修生) |
| 125 | 2001.5.25 | 「南アジアと日本のNGO事情」 | 大橋正明(恵泉女子大学) |
| 126 | 2001.6.30 | 「自然・人間の共存と技術の未来」 | 星野芳郎(技術評論家) |
| 127 | 2001.9.28 | 「頓挫したレフォルマシー 前大統領の罷免とメガワティ政権の意味」 | 加納啓良(東京大学教授) |
| 128 | 2001.11.21 | 「水俣病の科学」 | 西村肇(東京大学名誉教授、シネシス主宰) |
| 129 | 2001.12.20 | 「グローバル化と東南アジア」 | 渡辺泰造(青山学院大学教授、元インドネシア大使) |
| 130 | 2002.2.28 | 「自然エネルギー普及の現状と政策上の課題」 | 飯田哲也(「自然エネルギー促進法」推進ネットワーク代表) |
| 131 | 2002.3.30 | 「21世紀の環境を支える水・土・緑と日本文化」 | 富山和子(立正大学教授、日本福祉大学客員教授) |
| 132 | 2002.7.27 | 「東ティモール独立後の課題と展望」 | 松野明久(大阪外国語大学助教授、大阪東ティモール協会事務局長) |
| 133 | 2002.8.31 | 「東南アジア島嶼域の海民の暮らしと漁業・養殖業」 | 北窓時男(アイ・シー・ネット(株)コンサルティング部研究員) |
| 134 | 2002.10.5 | 「バイオマスエネルギーと循環型社会の形成」 | 横山伸也(産業技術総合研究所 中国センター所長) |
| 135 | 2003.2.1 | アジアの環境問題を見る・考える～水と衛生の視点から | 原田秀樹(長岡科学大学助教授) |
| 136 | 2003.4.12 | アチー女性たちの視点で考える停戦意図後の新たな局面ー | 佐伯奈津子(NINDJA事務局長、PARC理事) |
| 137 | 2003.7.10 | イスラム法からみたインドネシアのNGO | 中村緋沙子(文教大学国際学部教授) |
| 138 | 2003.9.13 | ネットワーク論からみたインドネシアのNGO | 荒木徹也(日本大学国際学部・日本学術振興会特別研究員) |
| 139 | 2003.12.6 | グローバル化時代における日本のNGOの現在と今後 | 伊藤道雄(JANIC理事兼国際・特別事業担当ディレクター) |
| 140 | 2004.3.25 | 東ティモール コーヒーのフェアトレード | 井上礼子((特活)アジア太平洋資料センター代表理事) |
| 141 | 2004.5.8 | 2004年インドネシア総選挙ー何が変わり、何が変わらないのかー | 松井和久(アジア経済研究所地域研究センター参事) |
| 142 | 2004.7.24 | インドネシア豊かな光・大地からのバイオマスエネルギー開発 | 田中直(APEX代表) |
| 143 | 2004.10.30 | インドネシアの水環境を守る | 田中直(APEX代表) |
| 144 | 2004.12.4 | 「パートナーシップ」による国際協力は可能か | 下澤嶽(シャプラニール理事) |
| 145 | 2005.3.5 | 京都議定書の発効と日本のエネルギーの未来 | 吉岡齊(九州大学比較社会文化研究院教授) |
| 146 | 2005.5.21 | アフガニスタン、ソボボ～紛争の地で出会った人々～ | 長倉洋海(写真家) |
| 147 | 2005.9.19 | ユドヨノ政権の一年 | 加納啓良(東京大学東洋文化研究所教授) |
| 148 | 2005.12.10 | 「グローバル化時代の戦争と平和」 | 武藤一羊(ピープルズプラン研究所共同代表) |
| 149 | 2006.2.25 | バイオマス利用と持続可能な社会の形成 | 泊みゆき(バイオマス産業社会ネットワーク代表) |
| 150 | 2006.5.13 | バイオマスエネルギーを人々の手に | 田中直・堀尾正朝(APEX代表・東京農工大学BASE教授) |
| 151 | 2006.7.15 | NGO活動と互助互恵 ー真に豊かな社会を築くためにー | 陣崎淑子(埼玉大学名誉教授) |
| 152 | 2006.11.6 | 開発途上国のサニテーション(環境衛生) | 北脇秀敏(東洋大学国際地域学部) |
| 153 | 2007.2.23 | 村と戦場、二つの前線に立って考えてきたこと | 熊岡路矢(日本国際ボランティアセンター理事) |
| 154 | 2007.5.20 | 世界から貧しさをなくす自然エネルギーの使い方 | 田中優(未来バンク事業組合理事長) |
| 155 | 2007.9.29 | 日本近代技術の形成をめぐって～現代の途上国の問題とどうつなげるか～ | 中岡哲郎(技術史家) |
| 156 | 2007.12.1 | 途上国に役立つCDM事業とは | 吉高まり(三菱UFJ証券株式会社) |
| 157 | 2007.12.12 | 途上国における技術移転・森林減少の現状と今後の課題 | 加藤真(海外環境協力センター)、日比保史(Ciジャパン) |
| 158 | 2008.5.26 | 定常型社会ーアジアにおける新しい「豊かさ」と、環境・福祉ー | 広井良典(千葉大学法経学部教授) |
| 159 | 2008.8.29 | インドネシアのバイオ燃料～石油からバイオ燃料への転換～ | パンパン・ルディアント(和光大学経済経営学部教授) |